

ふくしま

再生 短信

1 0 / 2 3 これから 5 年 飯 館 村 村 民 の 思 い

まこと

真の文明は山を荒らさず川を荒らさず 村を破らず人を殺さざるべし 田中正造

2016年10月23日午後3時、東大農学部弥生講堂ア
ネックスで、ふくしま再生の会第13回活動報告会
『これから5年 飯館村村民の思い <過去に学び未来に
つなぐ創造的協議を>』を開催。会合は東大農学生命
科学研究科アグリコクーン農における放射線影響
FG共催、飯館電力株式会社と公益財団法人渥美国
際交流財団の後援を得て実現した。討議は円卓形
式で理事長・田尾陽一さんの司会で進行した。

最初に宗夫さんから「2011年6月6日以来多くの
人びとの参加に感謝。ヨコの連携はこれからの5
年を考える上で大きい意味がある」との挨拶に続いて、喫緊の5テーマ
について活発な意見交換。●百姓・
牛飼い：山田猛史さん「一貫事業目
指して息子は肉屋自分は牧場に取り
組む」、小林稔さん「肥育牛をやっ
てみたい、安全な牧草が課題」、
高橋日出夫さん「ハウスの切り花、
来年7月から出荷できそう」、佐藤
文雄さん「芍薬出荷が夢」、福島
県農林企画課主任主査の戸城和幸
さん「牛飼いを応援し
たい」●山林と自然エ
ネルギー：小林稔さ

ん「太陽光40ヶ所稼働目指す」、菅野啓一さん
「居久根を再生し孫達が故郷に帰れるようにした
い」、飯館村復興対策課長中川喜昭さん「森林の
再生を重視している」●健康に生きる：田尾さん
「個人線量計の運用と健康見守りに原爆手帳のよ
うな形を考えてよい」、菅野永徳さん「見守りは
コミュニティ再生から、山津見神社の存在大き
い」、菅野栄子さん「仮設の生活、よっちゃん（菅
野芳子さん）と一緒にだから生きてきた、一緒に村
に帰ります」●再除染と長泥地区の今後：地区長
の嶋原良友さん「『もどれない故郷ながどろ』を
出版、つながり・悲しみ・喜びが
つまっている」、小原壮二さん「長
泥の再生に向け空間線量と積算線
量の測定継続しています」●これ
から5年：菅野義人さん「帰村率
を上げる政策が必要」、菅野クニ
さん「知識は生活を楽しむ武器に
なる」◆まとめ：宗夫さん「帰る・
帰らない、互いにみとめあうことも
大切」、田尾さん「自然と人間の共
生の再建に田中正造の言葉（本号
標題）を想起したい」。
（撮影・文責：若林一平）



10/23詳細報告書は近日中に完成します。ご期待ください。